

気をつけよう！子どもの家庭内事故

幼いお子様は、保護者にとって想定外といわれる事故を起こすと言われています。全国的に、ベランダからの転落事故や自宅からの脱走等が発生しています。ご家庭の危険箇所をもう一度確認し、事故を予防しましょう。

Before



After



小山市の通告例

- ①保護者が寝ていた際に、幼い子どもが外に出てしまい、近所の人に保護された。
- ②子どもの手の届くところにポットが置いてあり、倒れて熱傷を負った。
- ③子どもを車に置いてその場を離れてしまい、通報された。



事故予防のポイント

- ・子どもの手に届くところに物を置かない（安全柵の設置・扉が開かないよう工夫）
- ・窓やドアの施錠を確認する（子どもの手が届かないところに補助錠を設置）
- ・眠っているとはいえ、短時間でも幼い子どもを置いて外出しない
- ・窓やベランダ近くに、子どもの踏み台になるような物を置かない
- ・子どもの発達特性、行動を理解する
- ・玩具の対象年齢を確認する など



参考ホームページ



消費者庁
「子どもを事故から守る！事故防止ポータル」
東京都
「子どものベランダ転落事故防止ポイント動画公開」

心配なお子様をみつけたら

- ①児童相談所虐待対応ダイヤル
☎189（いちはやく）
- ②警察 ☎110

